

第2章 その他の業務

I 森林法に係る各種業務

1 伐採及び伐採後の造林の届出書の受理

森林法第10条の8第1項の規定に基づき、森林の伐採を行う者からの届出188件を受理しました。令和4年度に本市が行った地方分権改革に関する提案により森林法が改正され、令和6年1月から「電線路の維持に伴う伐採の届出書の提出が不要」ととなりました。その結果、当年度の届出書の件数は、令和4年度と比較して102件減少しました（付表24参照）。

〈伐採及び伐採後の造林の届出の件数と面積〉

項 目	件数	面積(ha)
主 伐	110	34.48
うち転用	36	6.98
間 伐	78	565.36
合 計	188	599.84

2 森林の土地の所有者届出書の受理

森林法第10条の7の2第1項に基づき、売買や相続などによる新たな所有者からの届出186件を受理しました（付表25参照）。

II 森林課所管の土地・建物の管理

1 豊田市森林会館の管理

豊田市森林会館の利用実績は24件336人でした（付表26参照）。また、利用者のニーズに応え、木材の端材、蚊取り線香、キノコ菌の販売を行いました。

2 市有林の管理

「市有林ゾーニング・活用計画」に基づき、以下のとおり森林整備を行いました(付表 27、付表 28 参照)。

〈市有林別の作業実績（令和5年度）〉

（単位：ha・千円・m³）

市有林	作業区分	施業面積	事業費	素 材 生 産			備考
				うし国・県補助金	搬出量	販売額	
御内	植林	0.74	1,287	－	－	－	水かんモニ調査地内
勘八	切置き間伐	12.56	8,164	－	－	－	－
合計		13.30	9,451	－	－	－	－

III 「とよた森づくり委員会」の開催

とよた森づくり委員会（以下「森づくり委員会」）は、森づくり構想や基本計画について協議する委員会として平成17年度に発足し、平成19年度に策定した豊田市森づくり条例に位置付けられています。当年度は以下のとおり開催しました。

〈森づくり委員会委員（15人）/オブザーバー（2人）〉

役 職	氏 名	所 属 等
委 員	赤堀 楠雄	林材ライター
	臼田 寿生	岐阜県森林研究所 森林資源部 主任専門研究員
	岡本 透	（国研）森林総合研究所 関西支所 グループ長
	片桐 正博	豊田森林組合 代表理事組合長
	國友 淳子	トヨタ自動車（株） 社会貢献推進部 プログラム推進室 室長
	蔵治 光一郎	東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授
	鈴木 辰吉	森林所有者
	富永 英明	あさひ製材 代表
	新津 裕	岐阜県立森林文化アカデミー 講師
	西垣 貴文	西垣林業（株） 取締役副社長
	樋口 真明	（一社）ウッディーラー豊田 代表理事
	藤富 勝行	公募委員
	古橋 真人	（一財）古橋会 常務理事
	水嶋 淳	水嶋建設（株） 代表取締役社長
	横井 秀一	造林技術研究所 代表
オブザーバー	水谷 豊一	愛知県豊田加茂農林水産事務所 林務課長
	川合 寿人	豊田森林組合 参事

注 委員は令和6年3月31日現在。

〈森づくり委員会の開催状況（令和5年度）〉

開催日	場 所	内 容
7月3日	市役所環境センター 環51会議室	・令和4年度事業実績、令和5年度当初予算概要 ・森林資源の活用に関する課題（大径材） ・人工林率が低い地域の人工林整備の必要性 ・公費を投じた間伐に関する課題 ・ゾーニングと目標林型
10月27日	木瀬市有林、 月原市有林、 森林会館 会議室	・現地視察 ・委任状交付、新任委員の紹介 ・会長、副会長の選出 ・健全な人工林の評価指標 ・とよた森づくり月間のイベント観察
3月12日	市役所南庁舎 南51会議室	・新たな森林管理の在り方 ・ゾーニングと目標林型の再設定 ・間伐候補地集約化の推進 ・市公共建築物等の木材利用の促進に関する基本方針の改正 ・森づくり月間イベントの開催報告

IV 広報業務

1 講演、視察受入等の森づくり推進活動

森づくりに関する条例・構想・基本計画の策定や本市の独自施策に対して、各方面から講演や視察等の依頼がありました。

〈講演等の概要（令和5年度）〉

開催日	主催・イベント等名称	テーマ
7月12日	令和5年度岐阜県地域 森林監理士養成研修	「新・豊田市100年の森づくり構想」 市の森づくりの施策について
7月27日	栃木県議会 農林環境委員会視察	「豊田市の森づくりと地域材利用」 （一社）ウッディーラー豊田・寺部小学校見学
8月23日	森林 林業 木材・住宅 産業諸問題研究会研修	「豊田市の森づくりと地域材利用」
8月23日	令和5年度みえ森林・林業アカデミー 市町職員講座	「新・豊田市100年の森づくり構想」 市の森づくりの施策および今後の展望について
11月11日	伊賀林業研究会 研修	「新・豊田市100年の森づくり構想」 森づくり会議・団地による集約化について
11月12日	ダービーシャー公式訪問団視察	「日本の森林・豊田の森林」 山神祭（御内市有林）見学
3月14日	令和5年度豊田市森づくり成果報告会	当年度実施した事業の成果報告

〈印刷物等の概要（令和5年度）〉

掲載日	印刷物等の名称	タイトル等	発行者
4月	『林野』 フォレスター（森林総合監理士）の 活動書記	森づくりを実直に！ ー地域に入り、現場を重視する、 豊田市の集約化ー	林野庁
3月	『森林技術』 リレー掲載 チェンブレ！	豊田市による森林作業員の育成に ついて	（一社）日本森林技術協会

〈テレビ番組等の放映の概要（令和5年度）〉

放映日	番組タイトル	放映概要
10月16日	豊田市政番組「とよた NOW」特集	豊かな森を将来へつなごう 10月は「とよた森づくり月間」
10月25日	豊田市政番組「とよた NOW」	イベント「森 Thank You」を開催
3月7日	豊田市政番組「とよた NOW」	「森の相談窓口」を試行的に開設
3月18日	豊田市政番組「とよた NOW」	令和5年度版 豊田市森づくり成果報告会

2 森林環境譲与税を活用した取組

災害防止や温室効果ガスの削減につながる森林整備に必要な財源を確保する目的から森林環境税・森林環境譲与税が国で創設されました。森林環境譲与税については、令和元年度から配分されており、当年度においては以下のとおり活用しました。

〈森林環境譲与税を活用した取組（令和5年度）〉

（単位：円）

活用区分	事業名	内容	実績	事業費	うち譲与税充当額
森林整備	水源環境保全林整備事業	個人所有の人工林（水源環境保全林）の切置き間伐	間伐面積 19.31ha	14,802,618	14,802,618
	間伐促進事業	個人所有の人工林の切置き間伐等に対する補助	間伐面積 74.31ha	39,800,000	36,040,000
	高性能林業機械導入費補助金	高性能林業機械の新規導入に係る経費に対する補助	タワーヤーダ 1台導入	32,620,000	32,620,000
	森づくり推進組織育成事業	個人所有の人工林を間伐するためにとりまとめを行う（森づくり団地化）組織に対する交付金	団地認定面積 1,121.20ha	22,424,000	22,424,000
	モニタリング調査事業	間伐効果の検証や効果的な間伐手法を検討するための調査の実施	24か所	4,015,000	4,015,000
人材育成	森づくり担い手育成支援事業	森林の境界確認や測量を行う森づくり団地化推進員の雇用等に対する補助	森づくり団地化推進員 9人	24,038,000	13,604,382
	新規就業者育成推進事業	豊田森林組合の森林作業員の新規採用と育成に対する補助	新規就業者 6人	18,438,000	17,838,000
	人材育成事業	豊田森林組合が実施する森林作業員の基礎技術研修に対する負担金	森林作業員9人に対し、 計16回開催	2,000,000	2,000,000
	林業安全対策用設備導入事業補助金	林業安全対策用設備（伐倒練習機等）の導入に対する補助	伐倒練習機 1台導入	458,000	458,000
木材利用	テナント店舗等木質化モデル創出事業	地域材を活用した店舗等の木質化に対する補助	10件	12,122,000	12,122,000
	管理備品整備事業（小学校）	小学校における地域材の机・椅子の導入	(新規)机：458台 椅子：550脚 (修繕)机：415台 椅子：612脚	14,831,817	3,920,000
	管理備品整備事業（中学校）	中学校における地域材の机・椅子の導入	(新規)机：434台 椅子：482脚 (修繕)机：745台 椅子：425脚	15,455,385	4,080,000
合計				201,004,820	163,924,000